

JOURNAL OF FOOD SCIENCE

食
物
学
会
誌

第
七
九
号

京都女子大学 食物学会誌

KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY



No. 79

京都女子大学食物学会

February 2025

令
和
七
年
二
月

京都女子大学
食物学会誌

第 79 号 (2025 年 2 月)

JOURNAL OF FOOD SCIENCE
KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

No. 79 (February 2025)

目 次

原 著

- 若年健常女性における短時間・低強度の食後運動が血糖値に及ぼす影響；
無作為化比較クロスオーバー試験
…………… 橘田 薫, 樋口 友紀, 梶山 静夫, 宮脇 尚志,
梶山 真太郎, 今井 佐恵子 …… 1
- ABC タンパク質によるコレステロール輸送を活性化させる発酵関連成分の探索
…………… 佐藤 まりん, 藤田 真衣, 松尾 道憲 …… 11
- 高齢者におけるプロテイン製品の利用状況と生活習慣・食習慣の関連
…………… 粕谷 桃子, 橘 由佳, 灰藤 友理子, 坂手 誠治,
江藤 幹, 米浪 直子 …… 23

資 料

- 渡辺武氏のレーダーグラフ法を用いた健康レシピの効能効果の評価
…………… 川添 禎浩, 堀 真奈美, 村元 由佳利, 松井 元子 …… 33
- 京都女子大学食物学会誌のあゆみ
— 創成期, 創刊から 19 号まで —
…………… 桂 博美 …… 47

見 学 記

- 人々を幸せにする「栄養」の力
～DOCTORS CAFÉ PLUS を見学して～
…………… 佐藤まりん, 橘田 薫, 木村 佑来, 三好 希帆 …… 59

発行と原稿募集

本誌は年に1回、12月に発行される。原稿の募集は年間を通して随時行う。原稿は和文または英文で書かれたもので、他誌に未発表のものに限る。

1. 投稿内容

原稿は食物栄養学科に関係のある以下の内容とする。

- (1) 総説：食物栄養学及びその関連領域に関する特定の主題についてのこれまでの知見や研究業績の総括
- (2) 原著：食物栄養学及びその関連領域に関する論文で、独創的・新規性があるもの。
- (3) 短報：食物栄養学及びその関連領域に関する論文で、短い内容であるが、独創性・新規性があるもの。
- (4) 調査報告：食物栄養学及びその関連領域に関する調査活動の報告
- (5) 資料：食物栄養学およびその関連領域に関する有用な情報の紹介
- (6) その他：研究室紹介、卒業生だより、実習及び見学記など

投稿資格と条件

投稿者は、京都女子大学食物学会の会員ならびに過去に本学会員であった者（卒業生等）とする。また、共著者にこれらの者を含む場合は会員以外の者でも投稿を認める。その他、編集委員会が認めた者の投稿も認める。なお、すべての投稿者は、研究計画の考案・作成、実験、データ収集・解析、原稿作成と修正、最終原稿の確認のいずれかに携わっている必要がある。

2. 原稿の採否

原稿の採否は、食物学会長（食物学科長）及び運営委員からなる編集委員会に一任とする。編集委員会は原稿の査読を学内外の適切な者に依頼する（原則2名）。

著作権

採択された論文の著作権は食物学会に委譲するものとし、さらに学会は電子化の権利を有するものとする。本誌に掲載された論文等は、京都女子大学学術情報リポジトリ（京女AIR）を通してインターネット上で公開される。

3. 倫理的事項

原稿において、研究倫理に反する捏造、改ざん、虚偽、著作権に抵触する表現の搾取等があってはならない。

ヒトを対象とした研究では、世界医師会総会において承認されたヘルシンキ宣言の精神に則るとともに、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）に従って行わなければならない。これに該当する研究では、論文中に臨床研究倫理審査委員会等で承認された旨（承認番号）を明記しなければならない。

動物を用いた研究では、「研究期間等における動物実験等の実施に関する基本指針」（文部科学省）に従って行わなければならない。これに該当する研究では、論文中に動物実験倫理審査委員会等で承認された旨（承認番号）を明記しなければならない。

ヒトゲノム・遺伝子解析を行う研究では、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）に従って行わなければならない。これに該当する研究では、論文中にヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理審査委員会等で承認された旨（承認番号）を明記しなければならない。

利益相反

すべての著者の利益相反状態について、論文中で開示しなければならない。

4. 文字制限

文字制限は、総説及び原著の場合、和文約12,000字、英文約5,000字以内とする。それ以外は和文約8,000字、英文約3,000字以内とする。ただし、編集委員会が認めたものはこの限りでない。図表はA4版以内で作成し1枚が和文400字、英文250字として計算する。

5. 原稿作成要綱

- (1) 本文はMS-Wordで、図表はPowerPointで作成する。書式はA4横書き、ダブルスペースとする。フォントは12ポイントとし、和文の場合は、MS明朝、英文の場合はCenturyで作成する。各ページにはページ番号を、各行の先頭には行番号を通し番号で振る。
- (2) 和文の場合は、1ページ目に和文表題、著者名、所属機関、責任著者の連絡先を日本語及び英語で記入する。続いて、原稿枚数を本文、図、表、写真別に記載し、有料別刷希望部数を記載する。2ページ目に日本語の要約を600字以内で記入し、日本語のキーワードを5単語以内でつける。続いて、英語の要約を250ワード以内で記入し、英語のキーワードを5単語以内でつける。
- (3) 英文の場合は、1ページ目に英文表題、著者名、所属機関、責任著者の連絡先を英語及び日本語で記入する。続いて、原稿枚数を本文、図、表、写真別に記載し、有料別刷希望部数を記載する。2ページ目に日本語の要約を250ワード以内で記入し、英語のキーワードを5単語以内でつける。続いて、日本語の要約を600字以内で記入し、日本語のキーワードを5単語以内でつける。
- (4) 原著の場合、本文は、緒論（Introduction）、材料（対象）と方法（Materials & Methods）、結果（Results）、考察（Discussion）、文献、図（写真）の説明の順に記載する。
- (5) 栄養学・食品学用語は、日本栄養・食糧学会編「栄養・食糧学用語辞典」、医学用語は日本医学会用語管理委員会編「日本医学会医学用語辞典」等に準ずる。
- (6) 図表および写真は本文中に挿入箇所を明示して、別に添付する。また、そのまま縮尺印刷できる様に鮮明に作成する。
- (7) 本文中の引用文献番号は片カッコをつけて、上付で書く。文献は本文の最後に通し番号順に列記する。著者は最初の3名を記し、あとは「ほか」（英文ではet al.）とする。例：〈学術雑誌〉著者名（3名まで）：表題 雑誌名 発行年（西暦）、巻：頁－頁、（電子情報がある場合）doi 〈単行本〉著者名（3名まで）：表題 編者名 書名 発行所所在地：発行所、発行年（西暦）引用頁－頁、（電子媒体がある場合）doi 〈電子情報のみ〉著者名（3名まで）：表題 雑誌名 発行年（西暦）、巻、論文番号、doi 〈インターネット上の文献〉著者名：タイトル、URL（アクセス日）
- (8) 引用文献は原則、欧文雑誌名はIndex Medicusに従い略記し、和文雑誌名は略記しない。

6. 投稿方法

原稿3部を印刷し、当該年度の食物学会運営委員に提出する。同時に電子媒体によるデータも提出する。

7. 校正

校正は1回のみとし、著者が行うことを原則とする。

8. 別刷

総説、原著、短報、調査報告については、希望者に対して別刷20部までは無料とする。それ以上の希望数に対しては実費を申しつける。

京都女子大学 食物学会誌 第79号 (非売品)

令和7年2月21日 印刷

令和7年2月28日 発行

編集委員長 松尾道憲 (食物学会長)

発行所 京都女子大学食物学会
京都市東山区今熊野北日吉町35
京都女子大学家政学部内
電話 (531)7310 (〒605-8501)

印刷所 株式会社 北斗プリント社
京都市左京区下鴨高木町38-2
電話 (791)6125 (〒606-8540)
